

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

連日メディアで取り上げられている「豊洲移転問題」「東京オリンピック会場問題」と莫大な公費が投入されているにも関わらず小池百合子氏に

より再検討されております。

何時も思うことですが何故福祉への削減が行われる中でこのような莫大な公費が惜しみもなく使われているのか？

団塊の世代の方々が作り上げてきた日本なのに・・・安心して年を重ねる事のできる社会にせねばならないと考えているのは私だけではないと思います。

秋深まる季節ですが、くれぐれもご自愛ください。

サンライズの物語

さよならではなく、
またお会いしましょう。

ご利用者様と過ごした大切な思い出。

先日大好きなご両親の元へ旅立ったご利用様がおります。その方は若い時から関節リュウマチに罹患しており身体の関節の痛みと戦っていた方でした。時間を掛けて車椅子へ移乗してトイレへ行ってきましたが、ある日自宅で転倒してしまいベット上の生活となってしまいました。

何年もベット上の生活でしたが日々身体が衰弱されてしまい食事、水分も取れない状態となったしまった矢先の事。いつも「頑張る、頑張る」と前向きな言葉を口にしていましたが・・・状態が悪いとの報告に私が訪問すると「もう、駄目かも知れな

い・・・」と言い出してしまったのです。「往診の先生や訪問看護、私がついてるから大丈夫だよ、また元気になるから、そんなこと言わないでね」と言うのが精一杯で涙が零れてしまいました。

医療関係者からは「何時呼吸が止まってもおかしくない」との診断でしたが、最期は大好きだった訪問看護、訪問介護の担当者に看取られ息を引き取りました。一報が入って駆けつけると真新しいパジャマに着替えている時でした。「フー・フー」と声が聴こえたので訪問看護の方に確認すると心臓が止まったり動いたりしているのだとのこと・・・何故か私には私を待っててくれたように思え涙が止まりませんでした。ご利用者様との別れは辛く悲しいことですが、私が必ず言う言葉は「さよなら」ではなく「またお会いしましょうね」とお一人、お一人が今も私達介護職の胸の中で生き続けております。また何処かで再び会える日を楽しみに・・・

「介護の事故・トラブルを防ぐ70のポイント」

—今どきの介護現場のためのリスクマネジメント—

自由国民社 著者：田中 元

介護現場で最も大事なことはミスをする前に事故・トラブルの芽を摘み取ることです。本書は、起こりがちな介護事故・トラブルのケース別に、予防法と対処法を具体的に事例を交えて解説しています。

事故・トラブルを防ぎ、安全なサービス提供の体制づくりと適切な事後対処法のための決定版。



NEWS 今月のニュース

いすに腰掛け百歳体操

和歌山県みなべ町内で11日から、高齢者のための筋力運動「いきいき百歳体操」の教室が始まった。町地域包括支援センター主催。本年度、県内で美浜町とともにモデル地域に選ばれた。みなべ町内では初めての取り組み。皆で集い、楽しみながら健康につなげることも狙いとしており、南道と東吉田の2地区で12月末まで週1回、3カ月間続ける。

高知市が開発した重りを使った筋力運動の体操。いすに腰を掛け、準備体操、筋力運動、整理体操の三つの運動をする。筋力運動では、重さの調節ができる重りを手首や

足首に巻いて、ゆっくり手足を動かす。筋力がついて体の動きが楽になるほか、転倒しにくい体になり、骨を折って寝たきりになることを防ぐ。

国の「地域づくりによる介護予防推進支援事業」で、県内ではモデル地域に、14年度は紀美野町と有田川町、本年度はみなべ町と美浜町になった。みなべ町内では、長寿クラブの定例会で説明し、希望があった南道と東吉田の2地区ですることになった。

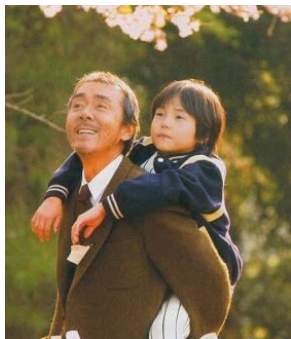
南道地区では南道会館で実施し、初日は22人が参加。初めに握力や柔軟性などを調べる5種目の体力測定をした後、DVDで、筋力を増やすためには適切な休養と栄

養が必要で、高齢者では週1、2回程度の運動頻度が効果的であることなどを学んだ。

続けてDVDの手本を見ながら、いすに座ったまま百歳体操をした。体ねじりや股関節運動など準備体操をした上で、腕を前や横に上げたり、曲げ伸ばししたりといった筋力運動をした。初めなので重りを付けず、ゆっくりと体を動かした。



<紀伊民報 2016年10月12日(水)>



今月の名言

目に見えない世界が、目に見える世界を支えているんだ。
肝心なことは心で見なくちゃ。

博士（映画「博士の愛した数式」）

映画、「博士の愛した数式」から抜き出した一言。今いる世界は、見たままのものとは限らない、そして、永遠の真実は目に見えないといった内容から続く言葉です。まだ気づいていないたくさんの素晴らしいことは周りにあるのかもしれないと気づかされます。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>